



校長室だより2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年3月8日
5年度第36号

3月となり、一気に「卒業」「学年末」の雰囲気が高まってきました。保健室そばの廊下には養護教諭の松本先生が掲示物を準備してくれました。小学校の6年間で身体がずいぶん成長したことが分かります。

今週から、毎日1限目には6年生が卒業式の練習をしています。卒業式の「主役」として、しっかり心の準備をしていることと思います。全校そろっての練習は来週から、式は15日(金)です。

全校の心が通い合った「6年生を送る会」

去る1日(金)は全校お待ちかねの「6年生を送る会」でした。詳しい内容は学校HPや「荻の里」でも紹介していますので、是非今一度ご覧ください。

当日は全校児童、教職員、そして保護者の皆さんも大勢来てくださり(50席用意していた席がかなり埋まっていた)、賑やかで楽しい時間となりました。マイクを通さずに発表する子供たちの声は、ステージから離れている大人には聞き取りにくい瞬間もありましたが、当の子供たちにはさほど問題ではなかったようです。発表の内容を見逃さないよう、聞き漏らさないようにと集中し、拍手や笑い声がタイミングよく起こり、皆、本当にこの会を楽しんでいました。その様子を見ていただけもう私はわくわくしていました。

それぞれの学年が工夫を凝らして準備や練習を重ねてきたことが十分伝わりましたし、

「6年生に感謝の心を伝えたい」「在校生に自分たちからのメッセージを伝えたい」という思いで全校が一つになっているのが嬉しかったです。

この会を中心になって企画した5年生の力にも感動しました。また、会の後には3・4年生も一緒になって後片付けを最後までしっかり行っていました。荻っ子たちに

やさしさ・かしこさ・たくましさ
がこれからも受け継がれていくことを確信できました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

2月の短歌「短歌でお手紙」の入賞作を紹介します

- (アメリカの友だちへ) つたえたい海のむこうの友だちに 楽しく元気ですごしているよ (2年Tさん)
- (ねづか先生へ) うんどうをまい日してねはしろよう うんどうぶそくねづか先生 (1年Aさん)
- (友達のAさんへ) 学校で笑顔になるのなぜだろう 理由分かったあなたのおかげ (5年Rさん)
- (すず※のじいちゃんばあちゃんへ) じしんきておうちにはもうとまれない でもあいたいな元気でいてね (1年Aさん)

※石川県珠洲市

- (ばあちゃんへ) ばあちゃんと二人で行ったよこはまへまたつれてってあのイチゴフェア (2年Sさん)
- (荻子子の皆さんへ) あれれれれれ体そう服がちぢんでる ちがうよみんな成長したの (職 Iさん)

この頃は児童会でも「ぼかぼかポスト」の取組を続けているので、子供たちは「お手紙慣れ」していますが、短歌の形にまとめることでまた頭の体操にもなったかと思えます。死んでしまったおばあちゃんや憧れのキャラクターや芸人さんに宛てて歌を作った子もいました。また、お子さんの用紙を使って応募してきたお母さんもおられました。一首ずつ読んで選ぶのが楽しかったです。

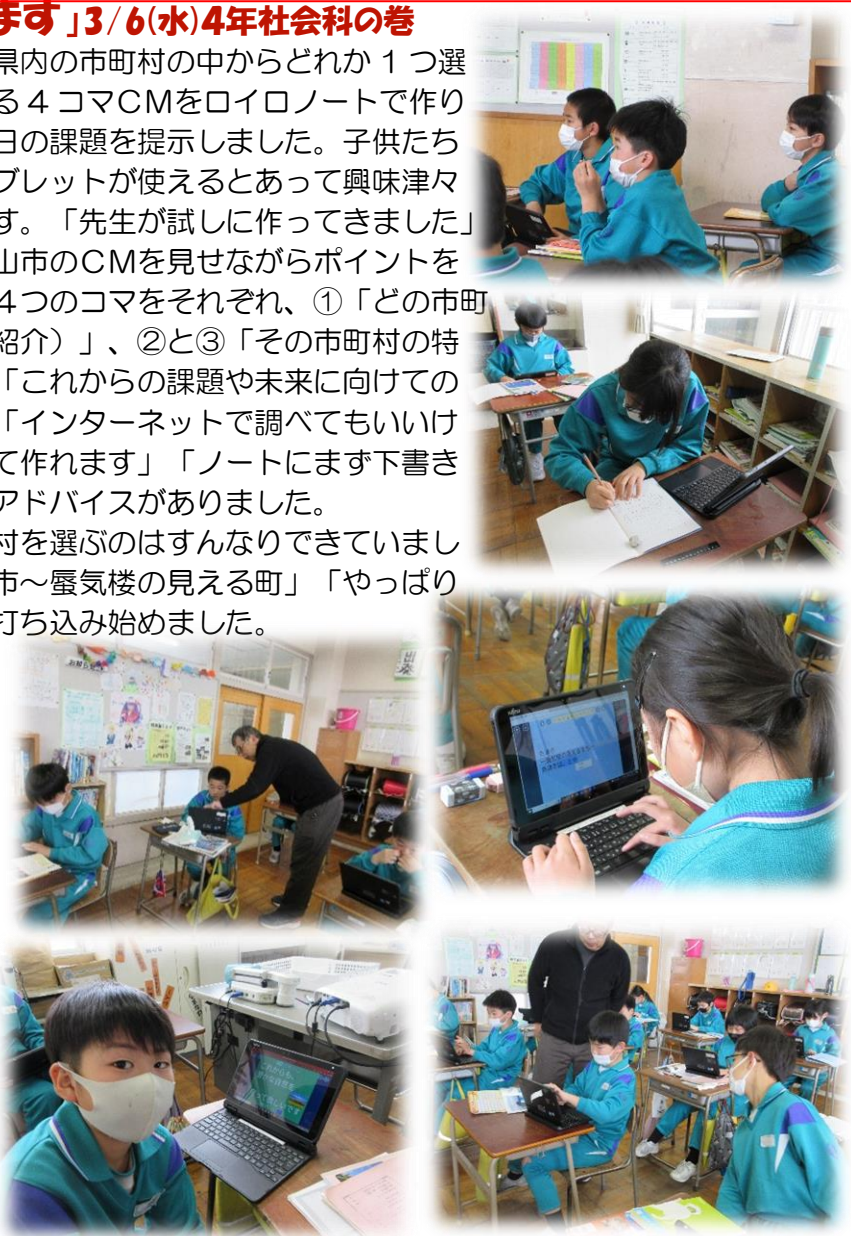
今年度の短歌の取組は今回で一区切りですが、皆さんにはこれからも、心にとどめておきたい出来事や思いを、時には短歌の形で表してみしてほしいと願っています。

シリーズ「教室におじゃまします」3/6(水)4年社会科の巻

霜野先生は「今まで勉強してきた富山県内の市町村の中からどれか1つ選んで、PRする4コマCMをロイロノートで作ります」と、今日の課題を提示しました。子供たちは大好きなタブレットが使えるとあって興味津々で話を聞きます。「先生が試しに作ってきました」と、先生が富山市のCMを見せながらポイントを説明します。4つのコマをそれぞれ、①「どの市町村か(簡単な紹介)」、②と③「その市町村の特徴(すごいところ、よいところ)」、④「これからの課題や未来に向けてのPR」として画面を作成していきます。「インターネットで調べてもいいけど、これまで学習したことを上手く使って作れます」「ノートにまず下書きをしてからでも大丈夫ですよ」と追加のアドバイスがありました。

さっそく作成開始です。それぞれ市町村を選ぶのはすんなりできていました。「立山町～自然が豊かな町」「魚津市～蜃気楼の見える町」「やっぱり最高な黒部市」など、思い思いに文字を打ち込み始めました。

早い子は時間内に4コマ分を作り終えました。こうして一人一人が作ったCMを読み合うことで、富山県全体の特色を捉え、考え、表現することのまとめにつながりそうです。



おまけの<ひとりとこ> 「送る会」で6年生がお返しにと発表してくれた劇の中で個人的に「ツボった」ところ…。①ボーリングの場面で登場したピンが人間だったところ(表面の写真を参照のこと)。そうだったら面白いな～と思ったとおりの演出だったので「それぞれ!」と笑いました。②「勉強がいやだ～」と文句を言う子を演じるのが(あなた勉強できるでしょ!)と言いたくなるステキな女子たちだったところ。素の自分と真逆の役を思い切り演じるのも劇ならではの楽しみですね。それにしてもさすが最高学年の6年生! どの子も演技が達者で驚きました。「伝えたい気持ち」「楽しみたい気持ち」があふれていました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。